

平成 31/令和元年度事業報告（決算用）

平成 31/令和元年度事業計画より

～事業別実施活動一覧～

1 住民活動支援事業

<方針> 山ノ内町で暮らす住民の日常的な生活を支援することを目的とした各事業の推進や、関係団体（当事者団体）への組織結成及び活動の支援、ネットワークづくりを推進する。

(1) 支援事業

ア 配食サービス

(受託事業) 1食 710円(利用者負担額 510円、(町補助 200円))、

(※昨年は 610円 (利用者 460、町 150 50円ずつアップ) 他社協 200円負担)

(他に社協でも 100円程度負担に)

月～水、金曜日 夕方の配食 (デイサービス後)

木曜日 昼の配食 (ほのぼのランチ:ボランティア)

(食数)

	上半期	夕食	ランチ	計	下半期	夕食	ランチ	計	合計
H31/R元		2,324	575	2,899		2,228	567	2,795	5,628
H30		2,406	539	2,945		2,416	559	2,975	5,920
H29		2,121	463	2,584		2,179	538	2,717	5,301

・ほのぼのランチ会食交流会(町担当者、社協会長を囲んで)

10.3(木) 利用者他ボランティアさん含め 総勢 30名参加

イ 脳元気教室

町介護予防事業の一つのメニュー(受託事業:1回実施につき 20(千円))

対象利用者 max. 12名/回 毎週の火・金曜日実施(上半期)48回(延べ 414名)、(下半期)44回(延べ 393名)

(年間)合計 92回 延べ利用者 807名

(H30年度:692名、H29年度:744名、H28年度:910名)

ウ 地域福祉活動推進団体支援事業 (いきいきサロン支援)

団体(地区)登録で活動

年度末活動費(助成金総額 321,500円(H30:382,500円))精算

年間延べ回数 117 (H30:132)回、人数 1,870 (H30:2,084)人

17 団体登録で活動中

※西部地区ふるさとふれあい交流会が解散→西小学校の空き教室(ラウンジ)を活用してのサロンに生まれ変わるか検討中

エ 福祉団体支援事業

- ・身体障害者福祉協会、遺族会、手をつなぐ(知的障害者・親の)育成会、やまびこ(母子寡婦)福祉会(助成金無し)、つつみ住民活動センター運営員会:(事務局・事業・団体補助金支援)

年度末活動費(助成金総額 160,000 円)精算

- ・更生保護女性会:(若干の事務局・事業支援のみ)

オ 重度障がい者外出支援事業(個別外出支援)

個別対応 1件 (H30年度:1件)

カ 高齢者いきがい活動支援事業(手芸教室)

手芸の会(毎月1回・第3週火曜)については講師手配し自主的に実施

キ 障がい者支援事業(障がい者スポーツ・レクの開催等)

- ・5/18(土)よませ活性化センター 北信大会の予行練習とパラスポーツ正式種目の“ボッチャ”のPRと体験 約30名参加
- ・北信地区障がい者スポーツ大会の支援
6/15(土)飯山市長峰スポーツ公園 22名参加
- ・県障がい者スポーツ大会支援
9/8(日)松本市広域運動公園 約20名参加

ク 障がい者(児)社会参加支援事業(余暇活動)

“つばさの会”として活動中

知的障害者当事者の方に余暇活動実施

毎回の参加者約20名、事業協力者7名 年間6回(奇数月)実施(ももの木事業所でも、+もう6回(偶数月)実施)

ケ 一人親支援事業(調査研究)

以前のサタでクリスマス事業の対象者、やまびこ(母子寡婦)福祉会員に一人親の意識調査(懇談茶話会等)実施

上半期は会員交流としてバスハイキング支援 R元.6.29(土)

コ 一人暮らし高齢者支援事業(一人暮らし高齢者おたっしや会)

10/3(木)(東北部)48名・4(金)(西南部)33名の参加

(ホテル志賀(北志賀高原) ゆっくりと会食会と講師(県総合リハビリセンターより高齢者の腰痛・転倒予防として)をお招きしての学習会 (参加費1,500円)

サ 一人暮らし高齢者安否確認事業(訪問見守り事業の充実:一部町か

らの受託事業)

※町委託事業として関わる職員の人件費等補助:691(千円)

町内該当者約 500 名中 **約 400 名の方に概ね季節毎を目安に訪問**
訪問時に情報誌等を届ける

シ 介護者支援事業

(介護者リフレッシュ教室・介護者リフレッシュ旅行(日帰り))

・教室 毎月約 10~15 名参加 通年実施

・上記、内 1 回介護者リフレッシュ事業 10/10(木)

秩父方面 秩父神社、長瀨ライン下り他 11 名参加

ス 歳末助け合い運動 (施設慰問・おせち料理購入補助)

県内社会福祉施設(町内出身者の入所等の障害者施設)6 施設(慰問 3+送品 3)へ山ノ内町特産のリンゴを送品・慰問

独居高齢者・生活保護世帯等の希望者へ約 250 個(2,400 円相当:
自己負担 900 円)のお節料理を町内仕出し組合・民生委員さんの
協力により大晦日に配達

セ 災害等支援活動 (災害時住民支えあいマップ)

災害マップ講習会(町より受託事業)

下半期マップ作り説明会実施

ソ 買い物弱者支援事業(町商工会、住民活動センター運営委員会と協働)

“わくわく商店街”として毎月第 2・4 水曜につつま住民活動センターにて実施

**年間開催回数 24 回 来客数、ボランティアさん含み年間 2,760 人
視察者受入 延べ 70 名対応)**

タ 福祉自動車貸出事業 (車イス用リフト付き自動車)

通年を通してご利用いただく

・貸出 延べ 3 回 実施 (平成 30 年度:7 回)

(2) 福祉権利擁護事業・金銭貸付事業

ア 金銭管理・財産保全サービス

対象者約 13 名に対して実施

※町委託事業として関わる非常勤職員の人件費等補助:961(千円)

イ **日常生活自立支援事業(県モデル事業(H22~24 の 3 年間)の後
現在、H25 年度より準基幹:基幹社協同等の活動)**

**対象者 36 名に対して実施 (生活支援員:地域福祉係長他非常勤
職員が実質活動)**

ウ くらしの資金・高額医療費貸付事業 (独自事業)

(別紙ページ)資料参照による貸付状況

年度内貸付額 555 千円、償還額 901 千円

- エ 生活福祉資金貸付事業
対象者約 25 名に対して実施(県社協からの償還指導のサポート)
- オ 関係事業の相談・支援
- カ 生活困窮者自立支援法に伴う「まいさぼ飯山」との連携
生活困窮者：まいさぼ飯山 との連携実施
- キ 法人後見制度に伴う「圏域内権利擁護センター」との連携
権利擁護：北信圏域域権利擁護センター との連携実施

(3) 結婚相談所事業(受託事業)

- ア 結婚相談所の開設(毎週火曜日 地域福祉センター1階相談室)
専任相談員設置により実施中(地区に協力員2名を配置し連携)
実施内容は **(別紙ページ)No.1**参照
- イ ふれあい交流会の開催
(特に友好姉妹都市への女性参加者の広報、ホームページの活用)
7/20(土)~21(日) 北志賀高原 参加者 **男性13名・女性9名**
(参加申込女性の内、8(結果参加は3)名が友好都市足立区、玉村町からは0名)
カップリングにより4組のカップル誕生
- ウ 若人交流会の開催→二市二郡連絡会議として広域イベントで予定
第7回目を実行委員会組織で実施(ii 出会い○○コン in 北信州(飯山市) 下半期 9.29 実施)
9/29(日) 二市二郡管内合同の婚活イベントの実施
(今年度も高山村も加わり7市町村合同)
飯山市合同の“なちゅらる婚”により**参加80(男女各40)人婚活パーティーの実施(日帰り) 全体で9組のカップリング**
(参加者内町内出身男性10、女性1名)で実施
- エ 男性登録者への啓発学習会
モテ男になる!セミナー 外部専門講師に 全国区の“結婚の学校”を主催するプロ講師(アクセス)より R元.7.7(日) 8名参加
- オ 県マッチングシステムの導入
本システム導入に合わせ、利用者に利用し易い相談所にするために、アンケート実施から、第1火曜日は pm2~8時の夜時間対応
第2土曜日は am9~pm12時の休日対応を工夫し…
相談件数が大幅に増加 例年年間20件程度が今年度70件の相

談実施

出合いの選択肢の一つに、県データベースシステムに参画 町内男性 14 名加入 県内では 1,086 名の登録状況 (男女比は 7:3) データマッチングにより、お見合いに展開した件が 4 件→まだ成婚までは繋がっていないが…

2 人材育成事業

<方針> 住民主体による福祉活動を推進し、創造性豊かな住民活動 (ボランティア活動) の中心となる人材の育成や福祉・生涯学習を積極的・計画的に推進する。更に、つつみ住民活動センターを拠点と位置づけ、住民や活動等をつなぐ「つながりの要 (拠点)」として推進する。

(1) ボランティア育成・支援事業 (ボランティアコーディネート)

ア ボランティア講座 (講習会・セミナー) の開催

ぬいぐるみ (テディベア) 作りボランティア 定期開催

切手整理ボランティア 定期開催

封筒づくりボランティア 定期開催

浴衣の着付け教室 7/26 (金)

映画鑑賞会 (認知症をテーマにしたドキュメンタリー映画)

介護者リフレッシュ教室と共催

8/26 (木) 全 3 回上映延べ 150 名余参加

・リース作り体験 12/4 (水) 8 名参加

・ボランティア年末清掃 計 47 名参加

(いで湯の里、つつみ住民活動センター、地域福祉センター)

12/9 (月)

・災害について考える講座 R2. 1. 21 (火) 約 30 名参加

・男衆会議 約 15 名参加

概ね月 1 回のペースで 4 年目 道の駅視察、学習会、マレットゴルフ

大会等々様々な内容で男性の居場所作り・ボランティア参加へ

※ 12/5 (木) しめ縄作り 10 名参加

イ ボランティア交流会の開催

点字・音声サービス利用者とボランティアの意見交換会

7/17 (火) 3 団体より 計 18 名参加

・ボランティア交流会 10/30 (水) おいしいコーヒー講座他 20 名以上

・北信ブロックボランティアの集い (飯山市当番) 11/16 計画

“台風19号被害により中止”

- ウ ボランティア研修会・視察の実施
・ボランティア視察研修・交流会 10/16(水)
(長野市中条地区 “なかちゃん”の仕組み(見学) 20名)
- エ 山ノ内町住民活動センター運営委員会(団体・個人)支援
“山ノ内町住民活動センター運営委員会”(つつみ住民活動センター内)支援
実施中 (5/11(金)住民活動センター運営委員会総会 30名参加)
つつみ住民活動センター 活動助成対象登録者数
団体 17グループ(総勢335名、延べ活動回数1,624回)
年度末活動費(助成金)精算 400(千円)
他年間を通して実施
わくわく商店街への協力 24回延べ331名
(R2.3.28(土) 思い出のランドセル募金:31個のランドセルが集まり全国
組織からアフガニスタンへ送品) その他古本、古着等の収集も実施
各支援団体に送付

(2) 福祉学習事業

- ア 福祉協力校(3小学校・中学校)への協力・支援(福祉学習の推進)
4/ 社会福祉推進校事業担当者会議
R2.3/ 社会福祉推進校事業担当者連絡会議:中止
年度末活動費(助成金)精算(各校30,000円上限×4校)
→実績計120,000円
- イ 学生や一般町民を対象としたボランティア体験事業
夏休みボランティア体験教室(切手整理ボランティア)
8/1(木)
北信ブロック夏休みボランティア体験教室～パリンブロック正式種目!“ホ
ッチャ”ってどんなスポーツ?
8/8(木) 中野市
福祉施設体験(町内の福祉施設)
8/1～8/9(小学校4年生以上)
(7/31(水) 事前研修)
夏休み福祉体験教室(寺子屋)
8/9(金) 真行寺様(宇木)
みんなの食堂
8/17(土)、11/23(土・祝)、R2.3は中止
高齢者疑似体験

R2. 3. 3(火) 八十二銀行山ノ内支店、職員対象

3 地域福祉啓発事業

＜方針＞ 山ノ内町住民をはじめ、関係団体・機関に広く福祉情報を広め、地域福祉の推進に対する意識を高める。

(1) ふれあい広場の開催（企画・実行支援）

6/2(日) 第32回目 参加者1,500名

実行委員会（出展団体等）より売上金を社協に寄付）

2020応援ツグ パブリカ ダンス

(2) 社会福祉大会の開催

12/1(日) 参加者300名 オープニング トルチェ・ステッパ「須賀川の民話」

活動発表 台風19号号災害に学ぶ(職員発表)

講演講師 岩佐まりさん(フリーアナウンサー)

若年性アルツハイマーの母と生きる

(3) 地域福祉活動計画の作成（地域に出向き調査等）に向けた取組み

(4) 社協広報誌“ちからこぶ”の発行（ボランティア情報誌の別冊発行）

毎月発行中（年4回はボランティア情報誌(つつみこみ亭)の別冊）

毎月前半(10日頃)発行（年4回ボランティア情報誌:情報誌委員会5名）

(5) 社協ホームページ充実 (<http://www.honobono-shakyo.or.jp>)

年間を通して実施

(6) 地域の縁側の開発

前坂、穂波温泉(西湯)等の開催しているところの支援 他

(7) 子ども食堂の開発

子ども食堂に向けた、「みんなの食堂」有志の会の支援

・みんなの食堂 第3回目 8/17(土) 80名以上参加

第4回目 11/23(土・祝) 60名以上参加

消しゴムはんこ作り、大人と子どもの遊びコーナー

4 地域福祉関係事務

＜方針＞ 山ノ内町の福祉向上につながる各種関係業務について行政と連携しながら、広く住民の理解をいただき積極的に水進する。

(1) 日赤長野県支部山ノ内町分区事務

ア 赤十字募金の実施

寄付金・社費

活動資金(寄付金・社費)

総額 1,584,196 円(R 元. 7. 25 現在)

(H30 年度 1,623,805 円)

イ 義援金等受付

東日本大震災義援金受付 R2. 3. 31 迄延長受付中 他

(令和元年台風第 15 号(R 元. 12. 31 迄)/19 号災害義援金(R2. 3. 31 迄))

ウ 災害被災者支援(物品・見舞金)

(特に令和元年台風第 19 号災害支援に 飯山市、長野市の災害ボランティアセンターへのスタッフ支援実施中) スタッフ派遣延べ 40 人

エ 赤十字講習会の開催

日本赤十字社救急法講座 心肺蘇生法～AED 取扱講習

※ 各地区日赤奉仕団員参加 7. 13(土)、

下半期は 11/30(土)、傷の手当講習

オ 赤十字奉仕団事務

※ 8/31(土) 町総合防災訓練(西部地区)に、日赤山ノ内町分区として奉仕団員参加協力(炊き出し訓練)

(2) 長野県共同募金会山ノ内支会事務

ア 赤い羽根共同募金の実施

10/1～12/31 運動期間 戸別募金他

総額 1,971,268 円(R2. 1. 15 現在)

イ 災害被災者支援(見舞金)

ウ 共同募金委員会の設置の検討

5 サービス提供業務

<方針> 住民一人ひとりが安心して、また満足のいく生活ができるように、質の高い各種サービスの提供をする。

(1) 居宅介護支援事業所の運営(介護保険法)

(2) 通所介護事業所の運営(介護保険法・障害者総合支援法)

(3) 訪問介護事業所の運営

(介護保険法・障害者総合支援法)

(4) 福祉用具貸与事業所の運営(介護保険法)

(5) 就労継続支援(B型)事業所「ももの木」の運営(障害者総合支援法)

(6) 障害者相談支援事業所「みのり」の運営(障害者総合支援法)

(7) 地域支援事業の

通所型サービスA事業所 「和(なごみ)」 の運営

訪問型サービスA事業所の運営

- (8) 地域活動支援センター 「豆の家」 の受託
- (9) 新規事業展開の検討・実施
 - ア 県次世代ヘルスケア産業協議会による、おもてなしの宿事業(訪問介護事業)の検討・実施
 - イ 生活支援コーディネーターの研究

※ (1)～(4)の事業所では、ISO9001の認証取得に代わる、社内独自の品質マネジメントシステムによる、良質で充実したサービス提供の維持・向上をめざしています。

6 法人運営

<方針> 社会福祉協議会の推進する事業が適正に運営され、広く住民の理解がいただけるように、安定経営の維持、確立をめざす。

- (1) 理事会の充実・強化
 - 毎月開催実施
 - 町補助金他自助努力も含め経営改善に努める内容の議論
- (2) 役職員の研修・学習会の開催
 - 11/15(木)、16(金) 先進地:神奈川県小田原市 潤生園
- (3) 社協会費の加入促進
 - 8～9月実施(別添資料)理事・監事による法人(今年度75社賛同)推進はしない
 - 会費納入総額 3,786,895円 法人会費78社**
 - (H30年度 3,737,666円(法人会費72社))
 - (別紙ページ)**資料参照
- (4) 経営診断事業実施
 - 加えて県内5社協経営研修会の充実
 - 全体研修 R2.2.15-16 御代田町社協会場
- (5) 個人情報保護に関すること
- (6) 社協職員の福利厚生充実
 - 今年度下半期に向けての、特定処遇改善加算の申請、請求 R元.9.30**
 - (来年度に向けて働き方改革の検討 を始める)